


タイムラプス エンブリオモニタリングシステム申込書

胚の受精確認やその後の発育過程の観察を高解像度タイムラプスを用いて行うことができる方法です。

	従来の培養方法	タイムラプスを用いた培養方法
説明	胚を培養器の外に取り出して顕微鏡下で観察し評価する方法	胚を培養器に入れたまま10分間隔で写真を撮影し、その写真を連続で映すことにより受精時や発育過程を動画として観察することができる方法
メリット	培養代以外に追加費用がかからない	① 培養器から出さずに胚を観察できるので、環境の変化がなく胚へのストレスが少ない ② 最終的な胚評価だけでなく、異常な分割や異常な成長速度の胚を見つづけることが可能 ③ 受精のタイミングをタイムラプス撮影することにより受精反応の見逃しを避け、精度の高い受精判定をすることが可能 ④ タイムラプスデータ*1をもとに胚を評価した"KIDScore*2"を得ることができる
デメリット	① 観察時に培養器から胚を取り出すため環境の変化が生じる ② ポイントだけを観察するためタイムラプスのメリットに書かれたような詳細な情報を得られない	① 培養代以外に追加費用がかかる ② 結果報告までに3週間ほど時間を要する <div style="text-align: right;">  <p>Embryo Scope+</p> </div>

*1 前核の消失時間や第一分割時間8分割形成時間等

*2 Veeck及びGardner分類によるグレード条件が同一の場合にKIDScoreを参考にします。

●適用

- ・受精後の詳細な培養状況を知り、移植胚を選択したい方
- ・上記に関わらずご希望がある方

●申込期限

採卵周期1日目以降10日目まで

●申込方法

期限までに本書を受付に提出

●費用

¥38,000（税別）…採卵日当日のお支払い

*事前に専用のシャーレを準備しているため申込後のキャンセルはシャーレ使用料として¥4,000（税別）を頂戴します。

●タイムラプスによる観察と評価の結果

- ①受精や発育過程を約1分に編集した動画（USBメモリ）②KIDScoreが記載された胚・未受精卵凍結リスト③体外受精報告書の3点をまとめて診察時にお渡しします。編集作業に時間を要するため、お渡しまでに採卵から3週間程お時間をいただいております。

培養士によるタイムラプス説明（タイムラプス1回につき10分無料）

ご希望の方はWEB予約サイトより【相談】→【タイムラプス説明（10分）】をご予約ください。

- ・USBメモリを受け取ってから予約をお取りください。
- ・あくまでもタイムラプスの観察についてのみ説明します。観察結果を踏まえた治療相談は【診察】や【IVFふり返り相談】をご予約ください。
- ・説明時間は10分の時間を厳守させていただくため、タイマーを使用します。
- ・1回の説明で直近1回分のタイムラプスについて説明します。

申込記入欄は裏面 

●動作環境 ※事前に必ずご確認ください。

タイムラプスの動画を視聴するためにはAVI形式の動画ファイルがインストールされている必要があります。無い場合には、フリーソフトVLCメディアプレーヤーをインストール下さい。ただしインストール環境としてWindows版はXP sp2 以降、MacOSはX10.6以降の必要があります。

私は今周期、受精卵の発育詳細を知るためのタイムラプスエンブリオモニタリングシステムの仮申し込みをします。

以下の項目について理解同意された場合は左端の 欄にを入れ下記に署名して下さい。質問や確認したい点がある場合はは入れず、本書ご提出前にスタッフまでお申し出ください。

- 同時培養可能人数は15名です。15名を超える申し込みがある場合には、採卵日が早い順の受け入れとなります。また、採卵キャンセルや排卵済み、採卵時卵子回収ゼロの場合もありますので、採卵後の培養士からの説明の際に実施の可否についてお知らせします。尚、申込後にキャンセルされた場合には¥4,000（税別）を頂戴しますが、培養可能人数超過によるキャンセルの場合には料金は発生いたしません。
- 対象卵子は採卵数16個までです。17個目以上は一般の培養になります。
- タイムラプスでわかることはあくまでも胚の発育速度や分割パターンです。タイムラプスにより受精卵の染色体異常の有無などはわかりません。
- 卵の状態を見極める為、培養経過報告メールの送信時間が遅くなる場合があります。培養経過報告メールでお伝えした内容と、後日の最終的な報告で若干内容が異なる可能性があります。
- タイムラプスによる胚の観察と評価の算定までには、採卵から約3週間かかります。そのため、採卵の次周期に移植を行うことは可能ですが、タイムラプスの結果のお渡し移植胚決定日の直前になる可能性があります。尚、通常の培養と同様に、培養が終了した時点で凍結できた胚の情報は培養経過メールでお伝えすることが可能です。
- 培養機器の不具合、培養環境の影響で撮影ができない場合があります。

日付： 年 月 日

氏名（自署）_____

診察券番号（ _____ ）

受領者： _____

決定：あり・なし 説明培養士 _____ (日付 _____ / _____)
